

龍飛埼灯台点灯90周年記念イベント

龍飛埼灯台は、令和4年（2022年）7月1日に昭和7年（1932年）7月1日の初点から90年の節目を迎えました。これを記念し、令和4年8月14日（日）、青森海上保安部では、次のイベントを開催しました。



●点灯90周年記念式典

龍飛埼灯台が1932（昭和7）年7月1日の初点から90周年を迎え、青森海上保安部はみちのく灯台プロジェクトの一環として、龍飛埼灯台点灯90周年記念式典を挙行いたしました。当日は天候にも恵まれ、龍飛埼からの眺望は北海道がはっきりと見える程であり、また、普段は強い風もこの日は穏やかで、素晴らしい式典日和となりました。

はじめに、舟橋清次青森海上保安部長からご挨拶を申し上げ、続いて、山崎結子外ヶ浜町長から祝辞をいただきました。



〔青森海上保安部長の挨拶〕



〔外ヶ浜町長の祝辞〕

●タイムカプセル開封式

続いて、10年前に三厩小学校及び今別小学校の4年生の子供たちが手紙や写真などの記念品を封印した灯籠のタイムカプセルの開封式を行いました。

思い出の品がおさめられたタイムカプセルは、龍飛埼灯台の中で10年間大切に保管しておりました。



〔タイムカプセルのプレート〕



〔開封している様子〕

式には今年度20歳の当時の4年生9名と三厩小学校の4年生を担当していた奈良先生が参加し、開封は両学校からの代表者1名ずつが行いました。タイムカプセルの中からは10年後の自分に宛てた手紙、記念写真、キーホルダーやミニカーなどが出てきました。各々、思い出の品を手に取り、10年前を懐かしんでいる様子でした。



ご参加ありがとうございました！





●一般公開

一般公開では多くの方にご来場いただきました。当日は天候にも恵まれ、灯台からは北海道が綺麗に見える程とても素晴らしい眺望でした。



【90人目の来場者ご家族】
記念にうみまるのぬいぐるみをプレゼント！



皆さま、ご来場いただき
ありがとうございました！

祝 龍飛埼灯台点灯90周年



龍飛埼灯台は、昭和7（1932）年7月1日の初点以来、津軽海峡を航行する船舶の安全を見守ってきました。
 そして、令和4年、初点から90年の節目を迎えます。
 龍飛埼灯台が、今後とも津軽海峡の海上交通の安全に寄与するとともに、地域の観光振興にも寄与することを祈念いたします。

青森海上保安部

航路標識の歴史と龍飛埼灯台90年の歩み

青森海上保安部

